

東京葛飾医療
生活協同組合

金町南支部だより

2025 年 1 月 8 日

連絡先：金町 4-20-16

菅野 090-9978-2419

“核兵器も戦争もない世界を”

日本被団協・ノーベル平和賞受賞

24 年 12 月 10 日、ノルウェーの首都オスロでノーベル平和賞授与式が行われました。1956 年に結成され、「核兵器廃絶」「原爆被害への国家補償」の二大要求を掲げ運動してきた日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）が受賞したのです。2024 年の受賞はノーベル委員会の思いの程が伺えます。被爆から 80 年の今年は「核兵器も戦争もない世界を目指す節目の年となるように」との願いが込められているのではないのでしょうか。

〈核兵器は人類と共存できない〉

ノーベル平和賞授賞式には日本被団協の田中照巳代表委員をはじめ、被爆者や高校生、若もの達も含め、一〇〇名以上が参加しました。授賞式での田中代表委員の演説は世界中の人々に大きな感動を与えました。「たとえ戦争と言えども、こんな殺し方、傷付け方をしてはいけない」と述べ、被爆者として「自らを救うと共に、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」として「核兵器と人類は共存できない、共存させてはならない」という信念が根付き、自国の政府の核政策を変えさせる力になろう」と呼びかけました。

〈禁止条約に背ける政府〉

被団協田中代表委員は授賞式スピーチで「何十万人という死者に対する補償は一切なく日本政府は一貫して国家補償を拒み、放射線被害に限定した対策のみ」と述べた上で、「もう一度繰り返します。原爆でなくなった死者に対する償いを日本政府は全くしていない」と加え、戦争を起こした国が国民の被害に補償しないことが許されるのではないか」と言います。

世界で唯一の被爆国である日本政府は、核兵器禁止条約（24 年 12 月現在、批准国 73、署名国 94）にオブザーバー参加もしていません。その一方で核不拡散条約（NPT）が重要だとし、国民の願いとは真逆の防衛費 2 倍比に突き進んでいます。

〈被爆 80 年、核廃絶へ希望の年に〉

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ爆撃など核使用の危機が強まる中でのノーベル平和賞受賞。世界の平和を願ってであろうノーベル委員会の思いに込められた 25 年にしなければなりません。その第一の力がこの受賞です。第二の力が田中さんをはじめ、被爆者の悲惨な体験と「人類と核兵器は共存できない」という訴えです。第三は 12 月 20 日長崎県議会でも全会一致で核禁止条約参加意見書が採択された様に被爆者や国民の声を政治に反映させること。第四は世界的な運動になっている原水禁世大会に今年も代表を送ることだと思えます。一人一人が声を出し、身近でできることから参加し希望ある年にしましょう。

金町南支部長 菅野勝祐

事業所から…

《金町診療所》

あけましておめでとうございます。金町診療所です。この冬はインフルエンザの大流行に加え新型コロナウイルスも収まらず、久々に発熱外来の予約が埋まり続ける状況になっています。マスクの着用義務は過去のことになりましたが、人が集まる場所における出かけの際には改めてマスクを着用し感染予防を心がけてください。

65 歳以上で予防接種が済んでない方は、インフルエンザが 1 月まで、新型コロナウイルスは 3 月まで葛飾区の助成期間になっていますので、ぜひ積極的にご検討ください。また、インフルエンザ予防接種について 65 歳未満で葛生協組合員 3 千円、一般の方は 5 千円で三つの診療所どこでも受けられます。この機会にどうぞ葛生協にご加入いただきご利用ください。組合員の同居ご家族はみなさま組合員価格になりますので大変お得です。昨年 12 月、マイナンバー保険証普及策で紙の保険証の新規発行

が終了しましたが、現在お持ちの保険証はまだ当面そのまま使えます。種類によって違いはありますがマイナ保険証への切り替えはあわてずに、ご不明な点は診療所事務にお問い合わせください。

金町診療所 事務長 菅野穰

金町診療所

【電話】

03-3607-5124



「やりすぎです」みどりの窓口の閉鎖

数年前に亀有駅のみどりの窓口が閉鎖され、次に金町駅、さらに北千住駅のみどりの窓口も閉鎖された。金町に自動券売機があるが、これでは買えないものがたくさんあるので、みどりの窓口を必要とするときには、松戸駅まで電車で行かなければならない。私は駅員さんに「電車賃も負担せねばならないのか」と苦情を言ったことがある。駅員さんは、「いや松戸までの往復の電車賃を支払いますよ」と、そのやり方を教えてくれた。

まず、金町駅で松戸までの切符を買い、その切符で松戸駅の改札口を通るときに駅員さんに「みどりの窓口に行きます」と声をかけ、提示して通過させてもらって、みどりの窓口で目的の切符を買うときに持ってきた切符を見せてその切符代と帰りの通行券を出してもらう。帰りの通行券は係が手で書き加え、ハンコを押して作られる。松戸の改札口で駅員に通行券にスタンプを押してもらい、金町でも駅員に直接手渡しして出してもらおう、



ということでした。

こんな原始的なやり方さえ、知らされず自腹で松戸まで行っている人も少なくないようです。

松戸駅のみどりの窓口は2窓しかないのです、たいてい行列になっていて、30分以上待たされたこともあります。各地で抗議の声が上がって、窓口を復活させたところもあると聞くが、人減らしでサービスを削って利益を追求するJRさん、いくらなんでもやりすぎじゃないですか。

国鉄を民営化するときは「民間になるとサービスが良くなる」と盛んに宣伝されたが、実際は国民の共有財産であった国鉄がJR社に群がった民間企業の「資本」に取り込まれて、私的な利益追求の会社になってしまったのが実態ではないのかと思ってしまう。

次回寄稿お待ちしております



題材は自由です。字数は六〇〇字前後でお願いします。

連絡先 菅野 (090-9978-2419)

新宿 小松伸哉

【紙の保険証は有効期限まで使えます】

▼▼▼ 12月7日に金町駅で宣伝 ▲▲▲

葛生協社保委員会が中心になって「マイナ保険証つくらないとダメ?」. つくるかどうかは任意です。と訴えました。全体で13名、金町南支部から6名が参加し、チラシ入りティッシュ500個配布、署名26筆が寄せられました。

- ◆ マイナ保険証でトラブル続出です。登録は任意で解除もできます。
- ◆ 有効期限後は資格確認書（保険者から送られてくる）で受診できます。



健チャレ、今年は…

’24 健康チャレンジ
17 名が参加、15 名が報告（はじめての参加者）

I さんの感想は、
「間食をしない」を目標にしましたが、大変でした。他の目標も「ながら」でやっておりますが、キチンと決めて取り組む事が大切と思いました。次回もよろしくお願ひします。
M さんの感想は、「これからも続けたい」でした。

【来年への要望】

- つづけることには賛成です。
- 目標は、項目は多数示しても選択は自主的に一つ。
- 健康づくりのために続けることが第一と思う。



「はぐるま」手配りさん募集します

葛生協・金町南支部と組合員さんをつなげる機関誌「はぐるま」と「金町南支部だより」は、現在37名の方々の手によって配布されています。2ヶ月に1度の配布ですが、多い方は30部近く配っており、このうち3部でも5部でも結構ですので、ご協力いただけますと大変ありがたいです。居住地の近隣で結構ですのでお申し出ください。
090-9978-2419 (菅野) までよろしくお願ひします。

